

メッセージアウトライン 「バプテスマのヨハネの不安」 2016年11月20日(日)

聖書箇所：マタイ11：2～11

タイトル：バプテスマのヨハネの不安

テーマ：牢に入れられたバプテスマのヨハネの心に起きた不安は、イエスこそ神の約束されたメシアであると宣言したものの、イエスは本当に来るべきメシアであったのかという、彼の信仰を揺るがす根源的なものである。私たちも困難や試練の中にあるとき、信じてきたはずのイエスを疑うことも現実には起きてくる。バプテスマのヨハネに対するイエスの答えの中に、不信仰から解放される糸口を見つけてみよう。

### 1. 文脈の確認

イエスは12弟子に、霊どもを追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいを直す権威を与え、忠告を与えて、町々に派遣された。群衆が羊飼いのいない羊のように弱り果てて、倒れているのをご覧になって、かわいそうに思われたからである。

そのころバプテスマのヨハネは、ヘロデ王によって捕えられ投獄されていた。ヘロデが自分の兄弟の妻だったヘロデヤを妻にしていることを不法だと、主張したからである。

獄中のヨハネに彼の弟子たちはイエスに関するいろいろな報告をしていたと思われる。律法学者やパリサイ人たちの不信仰、彼らに惑わされてイエスをどう信じたらいいのか戸惑い、弱り果てている群衆。様々な話を聞いてバプテスマのヨハネの心は動揺していた。

### 2. バプテスマのヨハネの信仰の揺らぎ

①「おいでになるはずの方は、あなたですか。それとも私たちは別の方を待つべきでしょうか」(11：3)

・ヨハネ1：29

・ヨハネ1：32～34

②信仰の揺らぎの原因

・バプテスマのヨハネがメシアについて誤解していたこと(初臨と再臨)

・自分の現実の姿、周囲の状況から来る不安

### 3. イエスの明快な答え

①「あなたがたは行って、自分たちの聞いたり見たりしていることをヨハネに報告しなさい」(11：4)

②報告の内容

・目の見えない者が見、  
・足のなえた者が歩き、  
・ツアラアトに冒された者がきよめられ、  
・耳の聞こえない者が聞き、  
・死人が生き返り、  
・貧しい者たちに福音が宣べ伝えられている(メシア預言の成就)

#### 4. バプテスマのヨハネに関するイエスの証言

##### ① 群衆に対するイエスの問いかけ

- ・「あなたがたは何を見に荒野に出て行ったのですか」
- ・バプテスマのヨハネの位置づけ
- ・そして、イエス・キリストを信じる者の位置づけ

#### 5. 結論

##### ① 信仰の人であっても信仰の揺らぐ時がある

##### ② 不信仰や不安に襲われたとき

- ・イエスが成してくださったことを思い起こす
- ・神の約束の言葉と神のご性質を思い起こす  
(イエスをとおして、神はあらゆる約束を成就された。イエスをとおして神は私にも必ず約束を果たして下さる)
- ・旧約のいかなる偉人よりも偉大な人と言われたバプテスマのヨハネ。彼よりも、さらに偉大と言われているクリスチャンの受けている恵みを思い出そう